年間授業計画　様式例

# 高等学校 令和８年度（２学年） 教科　　商業　　科目 ソフトウェア活用

教　科：　商業　　科　目：　ソフトウェア活用　　単位数：　3　単位

対象学年組：　第　2 学年　1　組　・　2　組

教科担当者：　上野・田中(裕)

使用教科書：　（ ソフトウェア活用　　実教出版　　）

教科　商業　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】　商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】　職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目　ソフトウェア活用　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 | 企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 | 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 身近な事例を基にビジネスにおけるソフトウェアの活用を考える学習活動により、ソフトウェアの意義と重要性を理解する。 | 1章　企業活動とソフトウェア活用<br>1節　ビジネスにおけるソフトウェアの活用<br>2節　ビジネスにおけるソフトウェアの進化について学ぶ | 【知識・技能】<br>ソフトウェアの意義と重要性について考え、理解することができたか。<br>情報通信システムの特徴や処理方式の概要を理解し、ソフトウェアの意義や役割を考え、具体的な利用例を理解することができたか。<br>【思考・判断・表現】<br>ネット通信ビジネスにおける情報通信システムに関心を持ち、各種決済システムなどの、ソフトウェアの意義や役割を考え、理解することができたか。<br>観光ビジネスとソフトウェアの活用、各種センサーとソフトウェアの関連などに関心をもち、概要と目的を理解できたか。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>ビジネスにおけるソフトウェアの役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身に付けようとする態度を持ったか。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | ソフトウェアの進化が、社会の変化に与える影響を考える学習活動により、関連する知識を身に付ける。 | 2章　情報通信ネットワークの活用<br>1節　情報通信ネットワークの導入と運用について学ぶ。 | | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | | 定期考査 | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| | 表計算ソフトの各種関数や機能を活用する。 | 3章　表計算ソフトウェアの活用<br>1節　表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析 | | ○ | ○ | ○ | 27 |
| | | 定期考査 | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| 2学期 | ビジネスに関する情報を処理分析しその結果を表現できる。 | 3章　表計算ソフトウェアの活用<br>1節　表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析<br>情報処理検定過去問題演習 | 【知識・技能】<br>表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解し、様々な方法で分析する能力を身に付けるとともに、分析結果を適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。<br>【思考・判断・表現】<br>マクロの記録機能を用いた、手続きの自動化について理解し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>表計算ソフトウェアを通して、オペレーションズ・リサーチの基礎について理解し、目的に応じて適切な手法を活用する技術を身に付けるとともに、適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | | 定期考査 | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| | 表計算ソフトウェアを通して、オペレーションズ・リサーチの基礎を理解し、目的に応じて適切な手法を活用する技術を身に付ける。 | 2節　表計算ソフトを用いたオペレーションリサーチ | | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | | 定期考査 | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| 3学期 | セキュリティ管理の必要性、コンピュータウィルスへの感染などを予防できる。<br>データの中から必要なデータを抽出できる。 | 4章　データベースソフトウェアの活用<br>1節　ビジネスとデータベース<br>情報の整列・検索・抽出<br>ビジネスと統計 | 【知識・技能】表計算ソフトウェアの応用的な知識・技術が身に付いている。<br>【思考・判断・表現】思考を深め、基礎的・基本的な知識技術を活用して適切に判断し、解答することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>与えられた課題に主体的に取り組むことができる。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 表計算ソフトの各種関数や機能を活用する。 | 表計算ソフトの活用・復習 | | ○ | ○ | ○ | 13 |
| | | 定期考査 | | ○ | ○ | ○ | 1 |

| 合計 |
| --- |
| 105 |